

■きものサミットの開催【商工費】（新規）1,000万円
（担当：商工観光水産部 商工振興課）

●きものサミット in 京丹後
ライフスタイルの変化などにより「きもの」着用人口の減少が和装業界の衰退原因となっています。



平成16年度
「きものサミット in 京都・西陣」

こうした中、平成8年に京都商工会議所の提案により、和装産地の生産者から小売業者まで一体となり、着物のすばらしさを再認識し、広く国民に訴える場として企画されたもので、全国の和装産地で開催されています。

「着用機会の創出」、「新商品の開発」などについて話し合い、具体的な行動計画を全国に向けて提案して和装産業の振興を図ります。

◎会場 メイン会場：京都府丹後文化会館
サブ会場：丹後あじわいの郷
アミティ丹後
峰山総合福祉センター

◎開催日 10月29日（土）～30日（日）

◎内容 ① きものサミット、きものチャレンジ事業、京都きものコレクション、きものパーティー

◎関連行事 きもの祭（丹後あじわいの郷）、ふる里ジャンジャン祭（既存イベントの同日開催）

◎全体経費 2,000万円
※きものサミット実行委員会が行います。
市の補助金 1,000万円
府からの補助金 100万円
京都商工会議所からの補助金 100万円
丹後織物工業組合などの負担額 800万円

96年、京都商工会議所が音頭をとりスタートしたもので、全国の和装産地および商工会議所などが、持ち回りで開催を重ねてきました。今回で9回目の開催となります。

■きもの祭の開催支援【商工費】（継続）350万円
（担当：商工観光水産部 商工振興課）

きものサミットの関連事業という位置づけで市内6町の商工会が連携して取り組み、市が支援します。あじわいの郷をメイン会場に「京丹後市きもの日創設事業」として開催します。

平成18年度以降も、きものを着る機会を増やすため「京丹後市きもの祭（仮称）」を引き続き行う予定です。

◎開催日 10月29日（土）～30日（日）

■丹後ブランドパイロット事業【商工費】（継続）759万円
（担当：商工観光水産部 丹後の魅力発信拠点整備推進室）

丹後の情報・魅力の発信と都市との交流の推進を図

るため、優れた地場産品をブランド化し、それを広く全国に紹介するインターネット上のショッピングモール『京の丹後屋』を運営し、市場調査および効果的な施策などの検討を行う事業です。

この事業の運営は、公募による市内事業者で構成します「丹後ブランド研究会」が主体となって行います。（平成16年度予算は、丹後ブランドパイロット事業の管理運営システム構築費用として、284万円でした）



ショッピングモール「京の丹後屋」のイメージです。オープンは、平成17年4月下旬を予定しています。

6 観 光

観光資源の有効活用によりにぎわいを創出します

■温泉施設活性化・薬草利活用の検討【商工費】（新規）85万円
（担当：商工観光水産部 観光振興課）

市内の温泉施設のさらなる有効活用や健康産業との連携を図るために、薬湯や薬膳料理などの調査研究を行います。



■観光活性化事業【商工費】（新規）83万円
（担当：商工観光水産部 観光振興課）

旅館・民宿や観光関連のお仕事をされている女性（女将さんなど）を対象に、「おもてなしの心と技」のスキルアップ講座を行います。新たな観光産業の展開を図るための取り組みです。募集定員は、30人で、8月下旬～10月にかけて、10回程程度の講座を開催する予定です。



スキルアップ…
能力向上のこと

各町観光協会を統合する準備をします

■丹後観光協会連絡協議会の設立【商工費】（新規）1,000万円
（担当：商工観光水産部 観光振興課）

市内の6つの観光協会が統合に向けて「丹後観光協会連絡協議会」を設立し、統一した観光ポスターやホームページによる予約システムづくりや、観光案内直通電話の開設などを行います。丹後観光協会連絡協議会に対する補助金です。

あじわいの郷を中心とした観光ルートをつくります

■丹後周遊ボンネットバスの運行【商工費】（新規）150万円
（担当：商工観光水産部 観光振興課）

丹後あじわいの郷を中心に、市内の観光施設や温泉、美しい自然、歴史的遺産や伝説などを巡る各種コースを設定し、昔懐かしいボンネットバスを運行します。



月2回（基本的に第2金曜日と第2日曜日、予約制）

静御前ゆかりの地を整備します

■静御前関連観光施設の整備【商工費】（継続）5,386万円
（担当：商工観光水産部 観光振興課）

現在、放映中のNHK大河ドラマ「義経」で、ドラマのヒロインである静御前のゆかりの地、京丹後市網野町磯の『静神社』の周辺を整備して、観光客の増加につなげます。

平成16年度から周辺整備に取り組み、照明工事、静御前レリーフの設置、駐車場整備、仮設トイレの設置などを行いました。

平成17年度は、展望台、遊歩道、常設のトイレなどを整備します。

市の負担額 5,386万円
（うち市債（市の借金） 5,350万円）※全額国債債



7 環 境

地球温暖化の防止に努めます
■エコドライブの普及促進【衛生費】（継続）160万円
（担当：生活環境部 環境推進課）

市役所はもちろんですが、市内の会社や市民のみならず、燃費のいい運転を習得していただき、現在乗っている自動車から温室効果ガスを少しでも出さないようにするための取り組みです。エコドライブ支援車載機の無料貸し出しを平成16年度から取り組んでいます。



エコドライブ支援車載機
燃費の悪い運転をしたときに「急発進です!」、「速度オーバーです!」といった警告を出して燃費のよい運転にドライバーを誘導します。

●主な経費
車載機の設定を変更するための手数料 160万円

温室効果ガス
二酸化炭素に代表される物質で、太陽からの熱をつかまえて、温室のように地球を暖める性質があります。地球の気温を生物が生きるために適した温度に保つためになくはならないものですが、産業革命以降の石炭や石油の利用によって排出量が増え続け、特に20世紀に入ってから急増したため、地球の平均気温を上昇させる原因となっています。

■うみかぜ風力エネルギー普及モデル事業【衛生費】（新規）1,213万円
（担当：生活環境部 環境推進課）

地球温暖化防止対策の一環で、自然エネルギー普及のモデル事業として、丹後町地域を中心に風力発電施設を整備します。

また、市民主体の組織「地球温暖化対策地域協議会」を設立して、温暖化防止の学習会や活動を展開します。

●地球温暖化対策地域協議会が設置する風力発電施設の費用の一部を補助します。 160万円

●小型の風力発電施設 5基分
●市が風力発電施設を整備します。 1,050万円

●中型の風力発電施設 1基
国からの補助金 500万円
府からの補助金 200万円
市の負担額 513万円
（うち市債（市の借金）350万円）※全額国債債